

コンクリート養生温度記録計のご利用方法

この度は、レンタルのご利用ありがとうございます。
取扱説明書を添付しておりますが、下記にて簡単に流れと注意点をまとめましたので、ご確認ください。

記

※ 本機は、入力点数6点、警報設定なしです。取扱説明書には別機能の説明も記載されています。
防水仕様ではありませんので、設置には充分ご留意願います。

1. 梱包

二重梱包で出荷しますので、ご返却時にも必ず発送時と同じ梱包でご返却ください。

2. ロックの解除と緊縛部の取り外し(取説P9)

輸送時の衝撃を避ける為、架台をロックしています。まずは、ドライバーでロックを解除してください。
架台を引き出すと、右上をひもで固定しています。このひもを取り除いて下さい。
(ご返却時は、ロックと緊縛部を固定して下さい)

3. インクパッドの装着(取説P11)

架台を引き出し、インクパッドを溝にはまるように取り付けます。

4. 記録紙の装着(取説P10)

記録紙を装着します。温度目盛が記載されていますので、必ず本体と記録紙の温度幅をご確認下さい。

5. 紙送りの設定(取説P12)

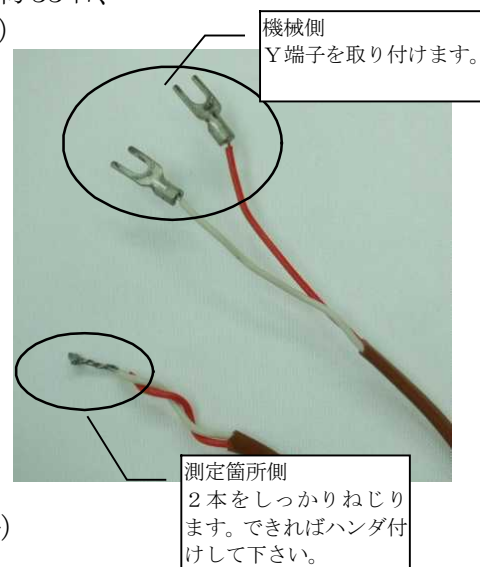
記録紙架台の左側に紙送り設定スイッチがあります。
計算上は、100mm/h で約 8 日、50mm/h で約 16 日、25mm/h で約 33 日、
12.5mm/h で約 66 日の連続使用が可能です。(記録紙は 20m です)

6. 熱電対の準備

熱電対は、100mです。任意の長さに切ってご利用ください。
本体に接続する側にはそれぞれY端子を取り付けます。コンクリートに入れる側は、線をむき出しにして2本をねじります。ねじりがあまいと、正確な温度が測定できませんのでご注意ください。

7. 熱電対の取り付け(取説P4～)

必ず電源を切った状態で作業してください。
本体背面の端子カバーをあけます。
2列にならんでいるチャンネルの上段 (+) に赤色、下段 (-) に白色を接続します。
計測しないチャンネルには、熱電対またはアース線で (+) (-) 間を接続します。
※ 計測しないチャンネルをそのままにしておくと、そのチャンネルの打点は乱打します。



8. 計測(取説P13)

準備が整いましたら、ACに電源を接続し、記録スイッチと指示スイッチの電源をONにします。
指示スイッチで蛍光灯がつかますが、夜間でも必ず両方のスイッチをONにしておいてください。